

国語課題懇談会 (京都会場)

日本語を書く ～ 漢字・仮名・ローマ字 ～

国語課題懇談会は、文化審議会国語分科会(旧国語審議会)で現在審議が進められている「ローマ字のつづり方に関する検討」をはじめ、日本語の表記に関して今後取り組むべき課題を取り上げ、有識者から御意見を伺うものです。懇談会の内容は国語分科会に報告し、これからの審議に役立てます。

日時 令和6年
1月13日(土) 13:30～16:30

会場 漢検 漢字博物館・図書館(漢字ミュージアム) 多目的室
京都市東山区祇園町南側551

参加無料
定員60名
申込み制

プログラム(予定)

※オンライン配信は行いません

12:30	受付開始
13:30	開会
13:35	審議経過報告
13:50	有識者の提言
14:50	休憩
15:05	シンポジウム 
16:30	閉会



提言・シンポジウム登壇者(五十音順・敬称略)



阿辻 哲次
京都大学名誉教授
漢検 漢字博物館・図書館 館長



大島 中正
同志社女子大学教授



沖森 卓也
立教大学名誉教授
前文化審議会国語分科会長

※ 参加者は、受付終了後から漢字ミュージアムの閉館時刻(17:00)まで、展示室を無料で観覧できます。受付開始は12:30です。

※ 感染症拡大予防ガイドラインに基づき、マスクの着用など感染防止への協力をお願いします。また、発熱等体調に不安のある場合には、参加をお控えください。

申込み方法

参加を希望される方は、12月17日(日)までに [入力フォーム\(←ここをクリック\)](#) からお申し込みください。右のQRコードからも申し込みます。希望者多数の場合には抽選となり、当落は年内にメールでお知らせします。



問合せ先

漢検 漢字博物館・図書館 km-info@kanken.or.jp

※ 会の内容については下記にお尋ねください。

文化庁国語課 kokugo@mext.go.jp

(いずれも@は全角になっています。コピーして使う際には半角に直してください。)